



御館中通信

福島県郡山市立御館中学校
令和4年1月11日発行
第14号 文責 校長 大内 晋

3学期、始まる

2022年、令和4年が幕を開け、本日1月11日（火）に、第3学期が始まりました。
冬休み中は事故もなく、新学期がスタートできました。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。
本日の始業式の校長式辞は次のとおりです。

3学期始業式校長式辞

みなさん、明けましておめでとうございます。

3学期がきました。18日間の冬休みでしたが、計画どおりに過ごせましたか？それぞれが今年の冬休みより少しでも良い過ごし方ができたのであればそれでいいと思いますが、さらに来年の冬休みは今年よりさらによい過ごし方ができるように努力してください。

さて、新年になって、もう今日は11日。登校して「お正月」の気分も抜けたでしょう。今日は2つ話をしたいと思います。

1つ目は、モチベーションの話です。モチベーションとは「動機」という意味です。

数日前の朝、テレビの番組で、東京パラリンピック2020に出場した2人の女子選手の対談を車の中でできました。一人は51歳の水泳の成田さんでこの方は13歳で病気で歩行できなくなりましたが、その後水泳を始め、6度のパラリンピックに出場。今回最後の参加で6位に入賞された、いわば「レジェンド」と呼ばれる方です。

もう一人は、女子マラソンで優勝した道下選手。若い選手ですが、現在は視力が0.01で、もっと下がる、つまり見えなくなってしまうかもしれないという方。伴走者と一緒にひもを握って走る姿をみなさんもテレビで観たと思います。

まるで親子のような雰囲気での対談でしたが、水泳の成田さんは、「最後の大会で入賞できて嬉しい。でも水泳は生活の一部だからこれからも続ける。」と言うと、「（マラソンで）金メダルをとったが、今、モチベーションをどう保ったらよいかかわからない。」と道下さんが言いました（先生は、「燃え尽き症候群？」のような感じかな、と思いました。）そんな道下さんに成田さんは、「自分は小さい頃から病院暮らしの中で、自分の周りの自分よりも小さい子ども達は何人も亡くなっていく姿をみて、『自分は病気を治したい、生きたい。』と思った。そして『やらないで後悔するのは絶対イヤだ。』さらに『自分は何より『水泳』が好きだ。』と言いました。それをきいて道下さんは、何かに気付かされたようにうれしそうにお礼を言い「また連絡させて下さい。」とお願いもしていました。

モチベーション（動機）は「やる気」に変わります。どのくらい強いかで目標が達成できるかどうかが決まると思います。いかがですか。みなさんの目標達成のためのモチベーションは、動機は何ですか？・・・もう一度確認してみてください。

もう1つは、新型コロナウイルス感染症の事です。新たな変異株による感染者が地域によって爆発的に増えています。しかし私たちにできることは、今学期も意識を高めつつ今まで同様に感染予防（特にマスク着用、教室の常時換気、三密を避ける、検温）をしながら学校生活を送る他ありません。また、身のまわりの人が感染した時に、噂をしたり、誹謗中傷したりすることは「いじめ」になります。絶対にしてはいけないことを認識してください。

この3学期は、3年生に限らずみなさん一人一人の「挑戦」を見守り支援していきます。

以上で、第3学期始業式の校長式辞とします。

令和4年1月11日

【お知らせ】

3年生の私立高校（日大東北、尚志、帝京安積、郡女大附属の専・併願）の入試の出願が完了し、

17日から入試が始まります。体調を整え、力を発揮してきてほしいと思います。がんばれ！！

